

2023
春号

朝日野総合病院 広報誌



「河津桜」南阿蘇村（看護師 松下 竜太）

三年半が経過した新型コロナウイルス感染症は、二〇二三年二月十五日時点で世界累計六百八十五万人、日本も累計で六万九千人の方が亡くなっておりますが、日本は人口百万以上の十九国中十六位で低値です。コロナウイルスはありふれた風邪の病原の一面も持ち、日本人は昔から繰り返し罹患しており自然免疫力が高いこと、神事から発した手洗

**新型コロナウイルス感染症に
考えさせられること
(リスクの真相をどこまで知って
対処すべきか)**

副院長
河野 一朗
(外科)

い・うがい・入浴(みそぎ)の習慣はそのまま微生物への対処法であり好衛生環境にあること、併せて、新開発ワクチンが導入されたこと等が低死亡率の要因とされます。

当院では新型コロナウイルス感染症治療に従事するというより、いかにして基礎疾患治療中の方の罹患を防止するかに対応に迫られました。病原は空間浮遊の経気道感染とされるためマスク重視でした。しかし中には下痢症の患者様もおられ、喀痰嚥下やウイルス血症では糞便等の排泄物にもウイルスは出ていくので、ノロウイルス等に準じて接触感染対策も必要と感じました。

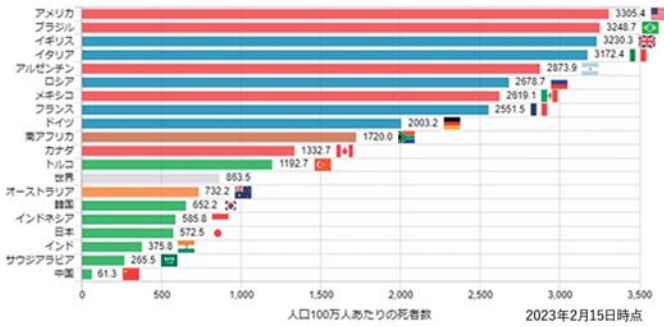
院内感染が拡大するなか濃厚接触した職員は無症状であってもPCR検査を受けねばならず、陽性ならば休むべしという状況は、貴重な働き手を削ぐという観点から、正に

理 念
愛する人を安心して任せられる
病院の創造

基本方針

- 1. 患者中心の医療の提供**
患者の権利を尊重し、インフォームド・コンセントを徹底することにより、相互の信頼関係の確立に努力する。
- 2. 患者サービスの向上**
病院の居住性・機能性を高め、接遇等の改善を通じ、心身ともに快適な受診や療養生活が送れるよう配慮する。
- 3. 救急医療の充実、医療水準の維持・向上**
救急医療の充実を図りつつ、24時間365日の医療を提供する。また各診療科の医療水準を向上させ、高度医療を維持・推進する。
- 4. 予防医療の展開**
健診業務を積極的に行い、生活習慣病診療科及び脳卒中診療科、総合リハビリテーションセンター、他各機能の充実を図り、生活習慣の是正等を啓蒙し、発病予防へと繋ぐ医療を展開する。
- 5. 医療安全の確保**
医療安全対策・院内感染防止等の管理体制を充実すると共に、職員の安全衛生意識の高揚を図り、事故の未然防止に努める。
- 6. 地域連携の強化**
地域の保健・医療・福祉連携を強化し、公開講座などを通じ、地域住民が健康で豊かな生活を送られるよう支援する。
- 7. 経営の健全化**
医療の質向上や患者サービスの充実には、安定した経営基盤が不可欠であり、適正な収益の確保、費用の節減、事業執行体制の強化など、効率的な経営努力を重ねていく。

累積新型コロナウイルス感染症 死亡率(100万人以上の国)



出典：札幌医科大学医学部 附属フロンティア医学研究所 ゲノム医科学部門
<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/death.html? s=y&f=y&n=j&c=1&p=1&d=0>



「井無田高原」山都町(理学療法士 吉本 大佑)

自分たちの首を絞めるような行為でした。院内で罹患という固定観ではなく、子育て期の職員が多いこともあり、感染不明の無症状のわが子との宅内接触で唾液や便を介して感染を受ける危険への視点も必要であったと感じます。いずれにせよ、五類移行に伴い感染蔓延の疑いとしてPCR検査を強要されなくなるのは有り難いことです。

ところで新型コロナウイルスは自然発生のパンデミックではなく「米国・中国両大国や巨大製薬業(ビツグファーマ)が関与する生物兵器の

漏洩事故によるもの」とされる報告があります。「まさか、そんな馬鹿な。それは陰謀論だ」と多くの人は言うでしょうが、決して無視できない内容です(注1)。逆に自国をさえ非難する、これほどの内容がベストセラーになるところにアメリカの懐の深さや広さを感じます。

我々日本人は、余りにも平和に甘んじ過ぎてリスクに無関心ではな

いかを問い直す時期だと感じます。

注1:「The Truth About COVID-19」(Joseph Mercola)米国アマゾンNo.1ベストセラー 訳書名 「新型コロナウイルス感染症の真実 グレートリセプト、ロックダウン、ワクチンパスポートの正体を暴く」 佐藤奈緒子 訳 経営科学出版 二〇二二/十一/〇一

BLS(一次救命処置)

実地訓練について

北8病棟 看護師長 宮崎 ともみ

今回は、当院で行っている「BLS(一次救命処置)実地訓練」についてご紹介します。BLSとは Basic Life Supportの略で、心臓停止または呼吸停止に対する一次救命処置の事です。医療安全管理室の主催で、全職員を対象に各部署・病棟で開催しています。研修の目的は、BLSの正しい知識と実施可能なスキルを修得することです。実地訓練では、部署の特殊性を盛り込んだシナリオを作成しています。病院という命に向き合う現場だからこそ、大切なひとの命を救える可能性を少しでも高めたいという思いからの開催です。

今回は、「患者様がリハビリ中に突然倒れて、意識がない」という状況を想定しての実地訓練でした。いち早く心臓マッサージを開始、病院内放送をかけ、応援者を集め、AEDを装着します。そして、医師到着までの一次救命を行います。

参加メンバー一人一人が、患者様急変時に対応できるように、真剣に取り組みました。

BLSは正しい知識とスキルを

修得すれば、一般の方も実践することが出来ます。しかし、訓練を行っていても、いざという時には勇気がいるものです。また、救命の状況は、その時々で異なるものでも、どのような状況に遭遇しても、落ち着いて修得したスキルを実践できるように、BLS実施研修を毎年数多く重ね、命の現場として知識とスキル習得に努めて参ります。



医療と教育をつなぐ

総合リハビリテーションセンター

小児リハビリ担当 理学療法士

池田 響子

現在、就学児に対してリハビリテーションを行っている施設は限られており、リハビリテーションを受けることができない子ども達も少なくありません。

当院の小児リハビリテーションでは、就学している子ども達に対してもリハビリテーションを行い、学校や家庭での生活をより良く過ごすためにリハビリを行いたい」という希望がある子ども達のお手伝いをしています。

子ども達は成長に伴って様々な環境の変化の中で生じる課題と都度向き合っていく為、その子の特徴に応じて多様な支援が必要になっていきます。

そこで当院では、学校訪問を実施しております。リハビリ室とは違った子ども達の様子から隠れた課題を知ることができ、学校やご家族、療育等で情報共有を行い、連携をして多方面から支援することを心掛けています。

医療と教育現場が相互に協力・連携する事で、子ども達の心身の

成長と発達に合わせて必要な支援を提供できるリハビリテーションを目指しています。

小児リハビリでは、子ども達に対するリハビリだけではなく、周囲を取り巻く環境も対象と考えて日々活動しています。ご家族・保育園・学校等へアドバイスを行い、子ども達への理解・環境の調整を進めています。

ご相談・お問い合わせは、お気軽に当院リハビリスタッフまでお尋ねください。



带状疱疹について

検査科 臨床検査技師

松田 美奈

今回は近年発症者数が増えている「带状疱疹」についてお話しします。

带状疱疹は、水痘・带状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みや発疹等が起こる疾患で、強い痛みと共に赤い発疹や水ぶくれが帯状に認められます。また発症後は、抗ウイルス薬などによる治療を行っても、带状疱疹後神経痛（PHN）等の後遺症が残る危険性もあります。

带状疱疹は、加齢や疲労等による免疫力の低下に伴い、誰でも発症する可能性があり、特に発症リスクが高くなる五十歳以上の方は、ワクチン接種も選択肢の一つになります。日本人の多くは、子供のときに水痘・带状疱疹ウイルス感染に伴う「水ぼうそう」を発症したことがあり、成人日本人の約90%はこれによって出来る抗体を持っています。

当院ではイムノクオマト法を測定原理とした抗原検査を採用しています。皮疹の内容物またはびらん・潰瘍のぬぐい液を検体とし、5〜十分で簡便かつ高感度で抗原を

検出することが出来ます。その他にも結果まで数日を要しますが、血液検体を用いて行う抗体検査もあります。気になる症状がある方は、医師に相談され、検査をご検討下さい。



当院で使っている

人工呼吸器の種類について

臨床工学科 臨床工学技士

佐々木 優基

人工呼吸器は人工的に呼吸を管理することができる医療機器です。

当院で主に使用している人工呼吸器は写真①と写真②です。写真①の人工呼吸器は口、鼻、又は喉元を切開し専用チューブを気管支まで入れて換気を行います。その方法をIPPV、TIPPVと言います。

写真②の人工呼吸器はマスクを口に当てて換気を行います。その方法をNPPVと言います。



写真①



写真②



写真③

救急車で患者様を搬送する際は、写真①の人工呼吸器は大きすぎるため、代用として、軽量で持ち運びがしやすい写真③の人工呼吸器を使用します。
このように使用する際は、症状・状況に応じ、機能と安全性によって使い分けています。

介護保険サービスを利用するまでの流れ



介護保険について
地域連携室 社会福祉士
藤中 詩織

今日は介護保険についてご紹介したいと思います。
介護保険は二〇〇〇年に介護保険法が施行され、その間定期的な改定が行われ現在に至ります。
介護保険サービスを利用するには、要介護（要支援）認定が必要で

す。対象は六五歳以上の方及び四十歳から六十四歳の方でがん、脳血管疾患等十六種類の特定疾患により介護や日常生活の支援が必要な方です。
まずは、住民票のある市区町村窓口へ申請を行い、その後訪問調査、かかりつけ医の意見書、介護認定審査会を経て認定結果が郵送で届く流れになります。
認定結果は非該当／要支援一・二／要介護一・二・三・四・五に分けられ、認定結果次第で受けられる



「御輿来海岸」宇土市(看護師 松下 竜太)

サービスやその量が変わってきます。
また、四十歳以上の方には介護保険の保険料支払い義務があり、特別な事情がなく保険料を滞納していると、滞納期間に応じて利用時に給付制限を受ける事になりますので納め忘れには十分注意して下さい。
これから介護保険サービスを利用したいとお考えの方は、地域ごとにある高齢者支援センター「ささえりあ」又は居宅介護支援事業所、地域連携室スタッフへお気軽にお尋ね下さい。

新入職員

今年も、たくさんの新入職員を迎えました。
ご協力ありがとうございます。



「くまにち・あれんじ」2022年12月3日号に掲載されました

女性医療従事者によるリレーエッセー



第106回
新しく
はじめたこと



医療法人朝日野会
十善病院
小児科小児外科医長
坂本 理恵子

今年7月にこれまで勤務した大病院を離れ、十善病院に就職しました。小児科医として十数年学びましたが、その前は外科診療に携わっていました。内科や外科、小児や成人を問わず診療できる医師になりたいと思ひ、大学卒業時に独自に立てたローテーション計画をようやく完成したところです。今は、成人の入院患者さんの診ながら、小児科小児外科の外来を担当しています。これまで大学では小児科、外勤先では内科、外科の診療を行う生活を続けていましたが、同じ日に0歳児から90代の成人まで診察すると、頭の中で設定しているものもろの物差しの切り替えが追い付かず、時々混乱することがあります。



十善病院に移ってから、小児リハビリテーションの取り組みも始めました。ここでは小児のST(言語療法)が以前から行われており、吃音(くもごん)言語発達障害などの患者さんを受け入れて

今年7月にこれまで勤務した大病院を離れ、十善病院に就職しました。小児科医として十数年学びましたが、その前は外科診療に携わっていました。内科や外科、小児や成人を問わず診療できる医師になりたいと思ひ、大学卒業時に独自に立てたローテーション計画をようやく完成したところです。今は、成人の入院患者さんの診ながら、小児科小児外科の外来を担当しています。これまで大学では小児科、外勤先では内科、外科の診療を行う生活を続けていましたが、同じ日に0歳児から90代の成人まで診察すると、頭の中で設定しているものもろの物差しの切り替えが追い付かず、時々混乱することがあります。

十善病院に移ってから、小児リハビリテーションの取り組みも始めました。ここでは小児のST(言語療法)が以前から行われており、吃音(くもごん)言語発達障害などの患者さんを受け入れて

「朝日野総合病院 公開講座」のお知らせ

★どなたでも参加できます。
奮ってご参加ください！(参加費無料)

健康講座

「視覚障害の原因となる眼の疾患
「糖尿病網膜症」のお話」

講師：医局長 行徳 泰宏 医師(眼科)

《日時》令和五年四月十九日(水)

十三時～十四時

(受付：十二時三十分開始)

《場所》朝日野総合病院
新北棟二階「さんほーる」

参加方法

「自由」に参加ください。

事前予約は不要です。

※当日体調の悪い方はお断りさせて頂きます。

※新型コロナウイルスの感染状況で急遽中止する場合がございます。

公開講座は毎月第三水曜日に開催！

日程：五月十七日(水)

六月二十一日(水)

◆公開講座の内容は、詳細が決まり次第、院内掲示板とホームページにてご案内いたします。
※都合により変更になる場合もございます。

問い合わせ：〇九六―三四四―三〇〇〇
(事務部 庶務課 今村まで)

「チーム医療：リハビリテーションの話」



病院長代理
清水 治樹
(脳卒中診療科)

私が専門とする脳卒中、特に脳梗塞の急性期治療は一九九〇年台初頭位まで「点滴して安静にし、寝かせておく」でした。その後「カテーテルによる血栓溶解薬の投与、同じく点滴による投与、血管内治療等と治療方法が高度化し、脳梗塞は「発症したらオシマイの病気」から「治し得る病気」になりました。

しかしながら個人的には、九〇年台半ばから普及し進歩していったリハビリテーションの役割が非常に高いと思っています。

リハビリテーション(以下リハビリ)の語源は「無くしたモノを取り戻す」という意味です。いまやリハビリという言葉はポピュラーになり、色々な場面で使われていますが、医学におけるリハビリは「病気や事故で失った機能を取り戻す」になります。対象としては整形疾患、脳疾患、手術後の機能回復、疾病後の体力回復など様々です。当院では四年前か

ら小児のリハビリも行っています。専門性から、基本的動作の維持・回復を担う理学療法士(PT)、日常生活に必要な作業・応用動作の獲得を図る作業療法士(OT)、言語や摂食機能の改善を担当する言語聴覚士(SLT)に分かれています。当院には総勢百名超のスタッフがいます。

リハビリが上手にいくためには、患者様の性格や精神状態を掴むこと、ご家族様との連携等が重要で、療法士にはコミュニケーション・スキルが必須だと思います。また、筋力や体力が弱った患者様を相手にする故にPTやOTは、一方では肉体的労働を求められる仕事でもあります。

患者様と実際に対面で接して行うので、親しくなる場合も多いでしょう。主治医や看護師に言えないことや悩みを、リハビリ・スタッフに相談していたという話はよく聞きます。コロナ禍にあつては大変苦労をしたと思いますが、当院リハビリでは感染防御はかなりしっかり出来ていたようです。

リハビリの最終的な目標は「日常生活を取り戻す」。車の運転や職業への復帰等の支援、自宅や学校訪問も重要な役目です。脳卒中の患者様は基礎疾患が多く、なかなか「取り戻す」まで時間がかかりますが、お役に立てるべく意見を出し合い治療方針を提案して頑張っているスタッフを見るにつけ、非常に頼もしく感じています。

第10回 医療法人 朝日野会
研究発表大会 報告

令和5年3月18日(土)午後、朝日野総合病院2階多目的ホール「さんほーる」において第10回となる研究発表大会を3年ぶりに開催致しました。

この大会には、朝日野総合病院と十善病院から約200名の職員が参加し、口述発表17題、ポスター発表5題、そして、COVID-19(コロナウイルス感染症2019、以後、略)をテーマとした指定演題発表4題の計26題の内容で行われました。

セッションIでは、「症例報告・診療の質等」をテーマとして、様々な症例報告や診療における質の改善を実際に行った例など計6題について活発なディスカッションが行われました。

セッションIIでは、計6題のチーム活動報告や業務改善に関する取り組み事例報告が行われ、今後の活動に役立つ情報交換が活発に行われました。

そして、休憩後に開始されたポスター発表では、5題のポスター前で発表者を囲み、色々な意見交換がなされていました。

セッションIVでは、計5題の調査報告が行われ、膨大な情報を基に作成された調査内容に対し、充実した質疑応答が交わされました。

最後のセッションでは、つい先月まで現場で対応

していたCOVID-19について、医師・看護師・薬剤師・臨床工学士の各職種から専門的知識と実際の経験を交えての感想と今後の対策等を発表してもらいました。どの内容についても、スタッフ一同経験者として、そして、医療に携わる専門家として熱心に聴講していました。

全ての発表が滞りなく終わり、金賞・銀賞・銅賞の表彰が行われ、和やかなムードで大会を締めくることができました。そして、「やっぱり、直接発表を聴いて、質問をして、答えてもらえるのはいいね!」等の声が挙がっていました。

この3年間、医療現場はCOVID-19の感染対策と治療で相当シビアな環境下にありましたが、徐々に復元しています。今回、大きな会場に集合して発表や意見交換ができる、以前であれば当たり前であったことが再び可能になっているのを実感して、今後とも変化する医療を地域貢献に役立てたいと思います。



病院長 野村 一俊



朝日野総合病院 外来担当医表 令和5年4月現在

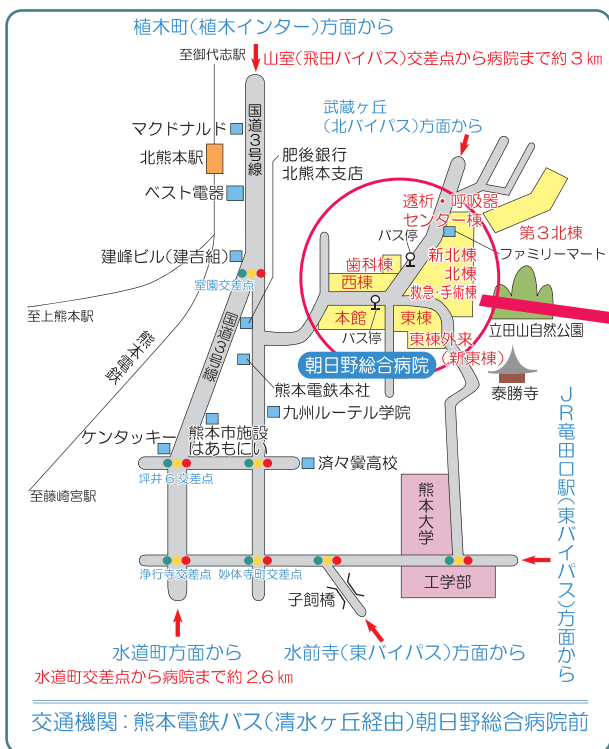
救急外来: 救急患者は24時間・365日

※都合により担当医が変更となる場合がございます。

施設	診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土	
救急・手術棟	一般外科 消化器外科 血管外科 呼吸器外科 総合診療科 肛門外科 乳腺・内分泌外科	午前	土井口 幸 河野一朗 (片瀨 茂) (柴田 浩)	片瀨 茂 柴田 浩(総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	土井口 幸 河野一朗 柴田 浩(内視鏡検査)	片瀨 茂 (総合診療科) (土井口 幸) (河野一朗)	片瀨 茂 河野一朗 (土井口 幸) (柴田 浩)	【午前外科外来】 土井口 幸 柴田 浩(第1・3) 芹川和志(第3) 【午前内科外来】 第13 担当医 第2 上野清徳(熊大血内) 第4-5 中村朋文(熊大血内)	
		午後	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 土井口 幸 (河野一朗) (柴田 浩)	※手術日 土井口 幸 河野一朗 (柴田 浩)	片瀨 茂 (河野一朗) (柴田 浩)			
	形成外科 皮膚科	午前	原田美穂	※手術日	原田美穂	原田美穂(第2・4)	原田美穂		
	皮膚科	午前		持永詠子		持永詠子(第1・3・5)			
	脳卒中診療科	午前	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹	清水治樹		
	緩和ケア外来 ※原則予約制	午後		片瀨 茂					
	小児リハビリテーション科	午前				清水治樹			
	麻酔科	午前	河野一朗	河野一朗 清水直子 東 兼充(PM)	河野一朗 清水直子	河野一朗 清水直子 東 兼充(PM)	河野一朗 清水直子	河野一朗 清水直子	
午後		清水直子							
東棟外来	整形外科	午前	前川清継 岡元 勉 辻 王成 (野村一俊) (堀 友宏)	前川清継 岡元 勉 (野村一俊) (堀 友宏)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	前川清継 岡元 勉 (野村一俊) (辻 王成)	野村一俊 辻 王成 堀 友宏 (岡元 勉)	岡元 勉 堀 友宏	
		午後	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)	※手術日 (野村一俊) (岡元 勉) (辻 王成) (堀 友宏)		
	骨粗鬆症外来 ※完全予約制	午前		辻 王成					
	ペインクリニック内科	午前	清水直子		清水直子	大津哲郎	清水直子		
	脳神経外科	午前		熊大脳神経外科 (第1・3・5)				久留米大脳外	
本館	一般内科 呼吸器内科 総合内科 リウマチ内科 血液内科 循環器内科 神経内科 心療内科	午前	清川哲志 伊藤清隆 新堀俊文 千住みどり (島津和泰) (緒方康博)	木山程荘 島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	木山程荘 清川哲志 依明恵(熊大神経内科) 第1・3 上野清徳(熊大血内) (伊藤清隆) (新堀俊文)	清川哲志 新堀俊文 千住みどり (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (島津和泰) (新堀俊文)	「救急・手術棟」 にて診療	
		午後	島津和泰 緒方康博 千住みどり (清川哲志) (伊藤清隆) (新堀俊文)	新堀俊文 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰)	伊藤清隆 (清川哲志) (新堀俊文)	島津和泰 千住みどり (清川哲志) (新堀俊文)	木山程荘 緒方康博 (清川哲志) (伊藤清隆) (島津和泰) (新堀俊文)		
	腎臓内科	午前	古閑博子	伊東磁郎		伊東磁郎	古閑博子		
	東棟	放射線科	午前 午後	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔	村上 稔
		リハビリテーション科	午前 午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	西棟	糖尿病・代謝内科	午前 午後	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	加生雅也	
			耳鼻咽喉科	午前 午後	湯本英二	湯本英二 菅村真由美	菅村真由美	湯本英二 菅村真由美	湯本英二 菅村真由美
乳腺外科 嚥下外来 ※完全予約制		午前 午後	後藤理沙				湯本英二 菅村真由美		
眼科		午前 午後	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	行徳泰宏	
泌尿器科		午前 午後	川畑幸嗣		川畑幸嗣		川畑幸嗣		
		婦人科 ※婦人科外来は当面休診	午前		担当医 検診のみ(完全予約制)		担当医 検診のみ(完全予約制)		熊大婦人科 検診のみ(完全予約制)
健診センター		午前	近藤圭一郎 西村龍一	近藤圭一郎	近藤圭一郎 緒方さつき	近藤圭一郎 菅 正康	近藤圭一郎 緒方さつき	担当医	
透視 呼吸器 センター 棟	人工透析センター	午前 午後	伊東磁郎 古閑博子 木脇祐聡	川畑幸嗣	伊東磁郎 古閑博子	川畑幸嗣	伊東磁郎 古閑博子	川畑幸嗣 熊大泌尿器科医師(第1) 盛 三千孝(第2・4) 出口隆志(第3・5)	
北棟	温熱療法 高気圧酸素療法 ※完全予約制	午前 午後	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣		
		歯科棟	小児歯科 小児歯科 歯科口腔外科 (インプラント治療)	午前 午後	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎 竹下尚志(熊大歯科 口腔外)	酒匂賢一 溝上太郎	酒匂賢一 溝上太郎	溝上太郎 宮原知也 (第1・3・5) (熊大歯科 口腔外) 松岡祐一郎 (第2・4)

○ 診療時間：月～金 9:00～12:30 13:30～17:30 土 9:00～12:30 ※ () は特別診療 ※ 赤字は女性医師
 (歯 科：月～金 9:00～13:00 14:00～18:00 土 9:00～13:00) (外来リハビリ：月～金 9:00～13:00 14:00～17:30 土 9:00～12:30)
 専門外来担当医：甲状腺外来(月・金 午前) 河野一朗, 脳卒中外来(月～金 午前) 清水治樹
 女性専門外来・ストレス外来(男女)(月・木 午後) 千住みどり

朝日野総合病院への行き方及び駐車場のご案内



健診センターのご案内

健診センター長
近藤 圭一郎

西棟 2 階の健診センターでは、皆様の健康管理のお手伝いをしています。是非ご利用下さい!

健診コース

- ・人間ドック(宿泊コース・日帰りコース・心血管病コース)
- ・生活習慣病予防健診
- ・定期健康診断
- ・一般健診
- ・**特定健康診査、特定保健指導** ※各種オプション検査、診断書発行等も行ってあります。
- ・乳がん・子宮がん検診
- ・胸部CT検査・頭部MRI検査

月曜～金曜 午前 8:00～12:00
午後 13:30～17:30
土曜日 午前 8:00～12:00

ご予約・お問合せ先

TEL 096-341-5075 (直通)
担当/臼杵 お気軽にお問合せ下さい。



医療法人 朝日野会 **朝日野総合病院**

救急告示指定(二次) 病院長 野村一俊 名誉院長 前川清継
国土交通省 病院長代理 清水治樹 常任顧問 湯本英二
短期入院協力病院 院長補佐 片刈茂・清川哲志・伊藤清隆・土井口幸
※曜日毎の担当医などの詳細は7ページをご参照下さい

病床数378床

駐車場650台

〒861-8072 熊本市北区室園町12番10号

TEL.096-344-3000

FAX.096-343-7570

https://www.asahino.or.jp/ 朝日野会 検索



患者様の人格が尊重され、より良い医療が提供されるよう、私たちは以下の権利と責務を患者の皆様が有することを確認します。

患者様は、身分、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず良質な医療を適切かつ公平に受ける権利があります。

患者様は、人格を尊重され、個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

患者様は、診療について、分かりやすく十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

患者様は、治療計画を理解し、自己の意思で選択し決定する権利があります。

患者様は、診療に必要な自身の健康状態を正確に医療提供者に伝える責務があります。

患者様は、良い医療環境を共有するため、病院の規則を守る責務があります。

編集委員
あとかき

新型コロナウイルス対策として推奨されてきたマスクは3月13日から着用が緩和され、5月には感染症法上の位置づけが5類になります。とはいえウイルスそのものが変わったわけではないので、引き続き感染対策に取り組んでいきましょう。(H.S)

発行日/令和5年4月1日
発行責任者/野村一俊
編集委員/清水陽行・紫垣佳孝
発行所/朝日野総合病院
印刷所/(株)みどり印刷社